

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	セカンドプレイス株式会社 セカンドプレイス			
○保護者評価実施期間	2024/11/30		～	2025/1/10
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数)	19人
○従業者評価実施期間	2024/11/30		～	2025/1/10
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月10日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関わる方に安心してご利用頂ける事業所。子どもに合わせた活動提供と自己選択・自己決定で成功体験を積み重ねる事ができる。	活動は基本的に子どもたち主体的に決める。遊びの中に支援者から子どもにアプローチしたい要素を取りながら活動実施している。遊びの中で「できた」場面を大いに作り、「またしたい」「次はもっとしてみたい」と内発的な動機付けが育まれるよう支援している。	遊びをご家庭でも反映できるように、ご家族向けに遊びの研修等を実施して、より継続的に支援ができるようにしていきたいと思っている。
2	活動報告をLINEで報告している。以前は連絡帳を活用していたが、さまざまな理由でLINEを活用中。結果、ご家族の皆様から支援後にすぐに活動内容を知る事ができて嬉しい・安心すると言ったお言葉がある。	LINEで報告する事で、相談しやすい環境を作る事ができ、相談を持ち越さない仕組み化ができていると思う。積極的にやりとりする事で、悩み事を見過ごさない事ができており、必要に応じて面談やお電話にてやりとりなど工夫がしやすい。	保育園等のイベント等を毎月聞き、休みを予め把握する仕組みを作り、休んでも振替日が把握でき利用できるような力を入れていきたいと思っている。
3	質の高い支援に関わる子どもたちに提供できる。専門職からの視点が支援に生かされている。	他職種で子どもの特性を把握する会議を積極的に行っている。対応した方が良いスタッフが支援に入る事で、より専門的にアプローチできるようにしている。	個別・集団の枠があり、より子どものニーズに対応できるようにしている。児童発達支援のテーマが「生き抜くチカラを育む」なので、ゆくゆくは子どもの発達に合わせて、集団活動が楽しめるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族会等の開催が保護者様のわかるような形で行われていない。保護者参加型のイベントも行われていることは周知されつつもあるが参加に戸惑う利用者様もいらっしゃる。	保護者会ほどきっちりとした会の開催は希望していない声もあり、保護者様参加型のイベントを昨年度より積極的に取り入れつつ計画を立てているが、イベントの告知タイミングが遅れてしまったりする点もあった。	事前に計画立てているイベントでは年間計画を年度はじめに告知するなど等の保護者様も参加の計画が立てやすい形の告知へ工夫する。
2	発達特性や環境要因、感覚過敏鈍麻などのフォーマルな評価やインフォーマルな評価	児童の特性理解を深める為やどの支援者でもその子の発達特性の理解が深まる客観的な視点を拡大させる。	子ども達の特性理解の為のフォーマルな評価の検討。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		セカンドプレイス株式会社 セカンドプレイス						公表日		R7年2月28日	
		利用児童数				30人		回収数		19枚	
		チェック項目				ご意見		ご意見を踏まえた対応			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない						
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18			1	保育士・作業療法士・理学療法士等、専門的に支援してくださっている。	引き続き専門的な支援ができるように精進して参ります。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19				入った時に嫌などの臭いは無い。清潔感がある。	関わる皆様安心して来所して下さるような空間作りをして参ります。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18			1					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19								
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11		1	7					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19				子どもが達成感を感じられるようにその都度工夫された活動を取り入れてくださっている。	引き続き、お子様方に合わせた支援ができるように支援して参ります。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	1							
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	1	1					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1			○困り事などを相談するとその都度アドバイスを頂く事ができる。 ○ぜひ	更に家族支援に特化できるよう事業所全体で力を入れていけるように精進して参ります。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	9	2	4	4	○活動後にLINEで連絡をくださりその都度相談しやすい。	LINEで支援内容を送りして喜んで頂きこちらも嬉しい気持ちです。引き続きよろしく願い致します。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18			1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18			1	○他の家族と関わる事がまだできない。 ○必要性をあまり感じない。○開催はされているがまだ参加したことがない。 ○1ヶ月以上前からイベントがわかっていたら参加しやすいのでぜひお願いいたします。	ご意見頂きありがとうございます。年に数回のご家族を巻き込んだイベントを実施しております。予定をもっと早めに決めてイベントにより参加しやすくなるようにして参ります。			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19									

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2		3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	2		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	2		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18		1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	2			○毎回楽しみに通っています。「セカンドさん好き」と言っています。○行き渋りがあるが行ったら楽しいようです。○療育に行く曜日の認識ができてきたように感じました。○先生に慣れて楽しんで参加している。○同じ園のクラスと行ける事が良いと感じた。	ご意見ありがとうございます。行き渋りの原因を探りお子様が自己選択・自己決定ができるように分析して支援に繋げて参ります。セカンドプレイスでの支援がお子様方の今後に繋がるように引き続き努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				○保育所等訪問支援が追加されて専門的な視点で見てくださりありがたい。○保護者としては子供の成長を感じている。相談に丁寧に対応して下さり感謝しています。○アイパッチを提案、実施して下さり視力も上がり感謝しています。	あたたかいお言葉ありがとうございます。引き続きお子様方にあった支援ができるようにスタッフ一同、努めて参ります。引き続きよろしくお願ひ致します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 セカンドプレイス株式会社 セカンドプレイス

公表日 R7年2月28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		1階と2階を活動内容で分けて支援している。必要に応じて区分Ⅰと区分Ⅱを使い分ける事で子どもに合わせた環境設定を行なっている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		適切である。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		スケジュールを絵カードや文字で分かりやすく行なっている。	自動手洗いは終わりが感じにくいので改善の余地あり。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		PDCAサイクルでの記録の仕方をスタッフ間で共有する等行なっている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		昼礼で活動後の振り返りを行い、必要に応じてその都度話をしている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		第三者による外部評価は行っていないので、今後検討し実施の方向性で進めたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修(スキルアップ研修・キャリアアップ研修・感染対策・虐待防止研修等)様々な研修を業務時間で行なっている。	
適切な 支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		目標を見て支援内容を決めている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		S-M社会生活能力検査・JSIを活用している。子どもにあった活動を実施している。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		「これやってみたい」「これをしたら面白そう」という心と体の引き出しを常に作るようにプログラムが固定化しないようにしている。遊びのレポートリーブックを作成し、繋がりのある支援を行なっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼・昼礼で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		あいびあ・あいかさんと連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		園の送迎時に話をする。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	移行支援会議があれば積極的に参加させていただきたい。移行支援シートを作成して保護者の方と情報を共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		今後、事業所主体でイベントを検討し保育園様にも足を運んでいただけるようにしていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		活動後にLINEを活用し活動内容を報告。保護者送迎の方には直接活動内容を直接伝える。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		家族支援の定期化を図りたい。ペアトレ研修に積極的に参加していきたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		上限額管理の仕組み理解をもっと勉強して保護者に分かりやすく伝えられるようにしていきたい。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			イベントに兄弟児の参加も促している。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			インスタグラムを活用し状況を発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			研修等で周知している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		保護者に協力を頂き、エビペンのデモンストラーションを受ける。緊急対応を確認する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			痙攣時対応、感染対策の研修実施。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			情報共有し、再発防止に向けた意見を出し合い周知できるよう改善に努めている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				